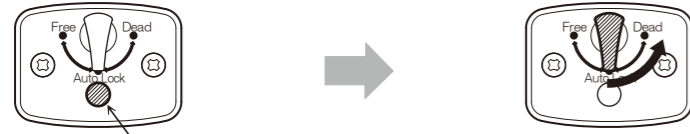


デッドロック機能

デッドロックボタンが付いているキーレックスの機能です。解錠をキー操作だけに切り替えられます。記憶ボタンによる解錠機能をロック【使用不可能】にすることで、解錠できる人員を限定でき、出入りを制限したい場所などに有効です。



① デッドロックボタンを押しながら

② 切替ツマミを Dead 側に回します

デッドロックから自動施錠へは切替ツマミを Dead → Auto Lock へ回します (デッドロックボタンは押さない)

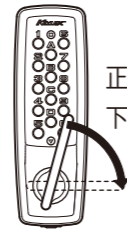
レバーハンドルの位置が正常でない時

レバーハンドルに『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にレバーハンドル操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して、上(下)位置でとまります。故障ではありません。

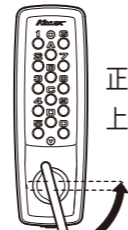


レバーハンドルの正常な位置

レバーハンドルの位置が右図になった時は正常な位置に戻します



正常な位置まで下げ戻す



正常な位置まで上げ戻す

本図は KL2100 右吊元仕様 (左吊元は対称)

記憶番号設定に関するご注意

- KL2100, 1100 は 1 ~ 14 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。(同じボタンを 2 度押す設定はできません)
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - ノブ(レバー) にぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ノブ(レバー) の操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布で拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

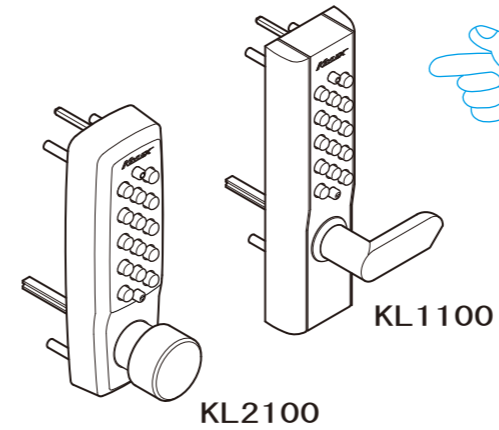


KEYLEX[®] 2100 1100

KL2100 KL1100
自動施錠

取扱説明書 (施主様向)

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



※ 各機種ともノブタイプ、レバーハンドルタイプがあります

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉

| |
|-------|
| 年 月 日 |
| 年 月 日 |
| 年 月 日 |
| 年 月 日 |
| 年 月 日 |

ただ今の記憶番号

KL2100

KL1100

※ 各機種ともノブタイプ、レバーハンドルタイプがあります

www.nagasawa-mfg.co.jp

NAGA
SAWA

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

基本操作

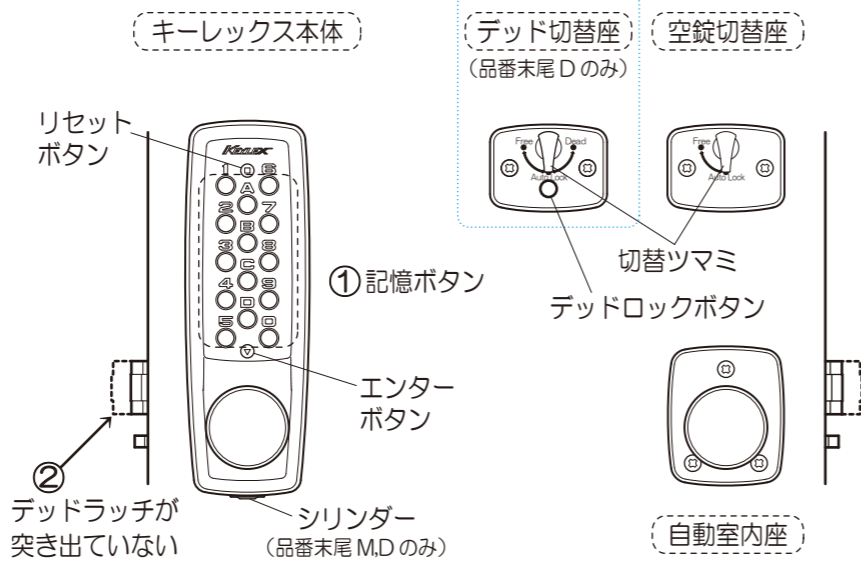
ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② 錠のデッドラッチが突き出ていない
(突き出ている場合は、ノブ(レバー)を操作して、デッドラッチを正常位置に戻す)

※ レバー仕様の場合はレバーが真横にある(真横にない場合は、4ページのレバーハンドルの位置が正常でない時を参照)

※ 鍵付タイプ(品番末尾M,D)の場合は記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも開扉できます。

- I: キーをシリンダーに入れ回す
(デッドラッチのみが引き込まれる)
- II: キーを回したまま(戻さずに)、ノブ(レバー)を引いて(外開き時)開扉する



室内側

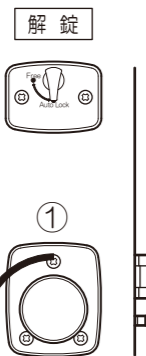
室外側

施錠

- ① 扉を閉めると、自動で施錠されます(Auto Lock時)

解錠

- ① ノブ(レバー)操作で、解錠できます



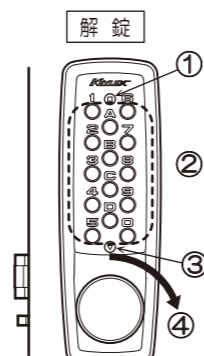
※ 本図は右吊元仕様(左吊元時は対称)

施錠

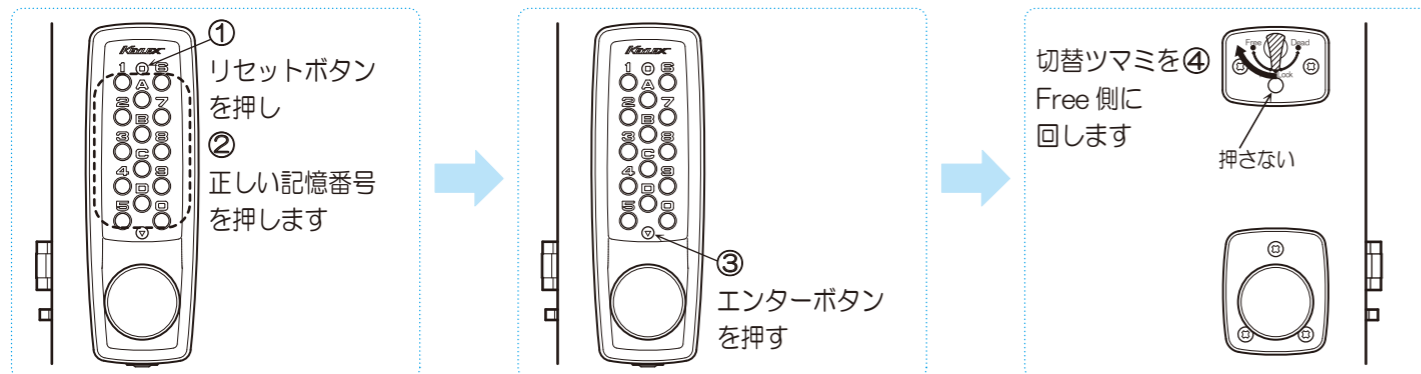
- ① 扉を閉めると、自動で施錠されます(Auto Lock時)

解錠

- ① リセットボタンを押します: 誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押し、③ エンターボタンを押します
- ④ ノブ(レバー)操作で、解錠できます



切替ツマミで、自動施錠から、扉を閉めても鍵がかからない状態(空錠)にすることができます(Auto LockからFree)扉を開けた状態で操作します

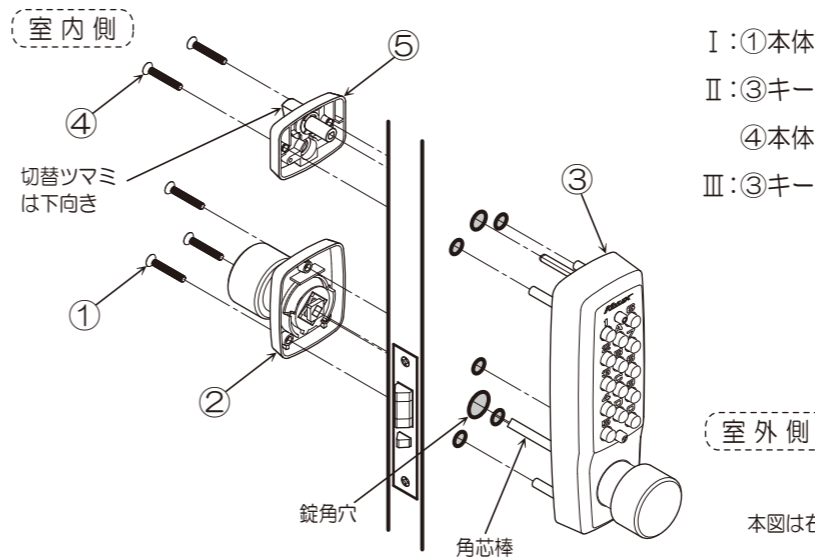


空錠から自動施錠へは、切替ツマミをFree → Auto Lockへ回します(デッドロックボタンは押さない)

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します

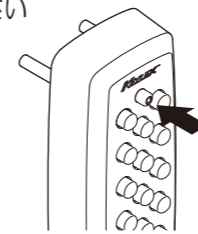
取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください



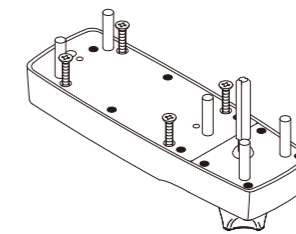
本図は右吊元仕様(左吊元は対称)

【2】記憶番号の設定変更をします

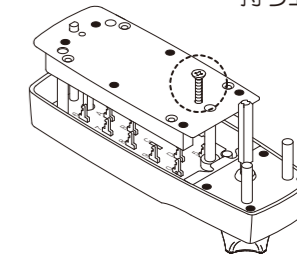
- I 本体表側のリセットボタンを押す
⑧まで記憶ボタンは押さないでください



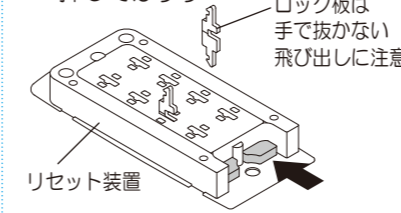
- II 本体裏のねじ4本をはずす
(赤色ねじははずさない)



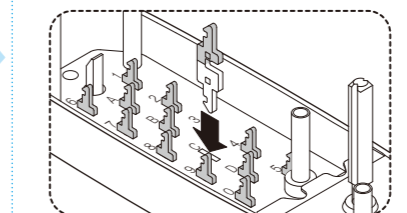
- III ねじを下図の位置に入れ
持ち上げる



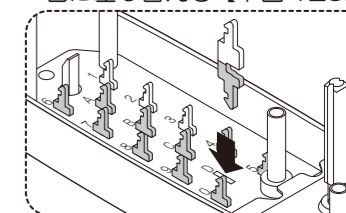
- IV リセット装置にロック板が残った場合 灰色部を矢印方向に押しはせず
ロック板は手で抜かない飛び出しに注意



- V 今までの記憶番号を消す: 白色のロック板を赤色に差し替える



- VI 新規記憶番号をセット: 新しく記憶させる番号のロック板を白色に差し替える【下図123D】



- ⑦ 新しい記憶番号を必ず記録します。本紙1ページに記入欄があります
- ⑧ リセットボタン + 新しい記憶番号 + エンターボタンを押し、ノブ(レバー)が解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します

【3】本体を取り付けます

- 【1】と逆の順番で取り付けます
角芯棒、切替ツマミの向きに注意して取り付けます(上図参照)

取り付けたら、扉を閉めずに2ページの基本操作で作動確認をします